

評価結果表（障害者・児施設（居住系サービス））

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。

1	I-1-(1)-①	評価
理念、基本方針が明文化され周知が図られている。		b
評価コメント	理念は明文化されホームページに記載されています。基本方針は、事業所内に掲示され、職員には年度初めに事業計画管理表にまとめて記載し回覧で周知を図っています。今後はパンフレットにも記載をされることを期待します。	

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

2	I-2-(1)-①	評価
事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		b
評価コメント	社会をとりまく福祉動向は、福祉新聞で情報を得ています。事業所の経営状況については、毎月、利用者数、コスト面など把握し分析を行っています。今後は数値化され、経営状況の推移がわかるような仕組みの構築を望みます。	

3	I-2-(1)-②	評価
経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。		b
評価コメント	役員、管理者間では、経営状況、課題把握を定期的に行い共有されています。職員へは、職員会議で周知が行われていますが、更に具体的な取り組みを期待します。	

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

4	I-3-(1)-①	評価
中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		a
評価コメント	中・長期計画は理念、基本方針の実現に向け数値目標を設定した計画となっています。職員への周知は、毎月の職員会議で報告し事業計画管理表を回覧していることは評価できます。	

5	I-3-(1)-②	評価
中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		a
評価コメント	中・長期計画に基づき、基本方針があり、単年度のアクションプランが作成され、単年度計画は、数値目標や具体的な成果、SDGsの取り組みも含まれて評価しやすい計画となっています。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。

6	I-3-(2)-①	評価
事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		a
評価コメント	事業計画の策定については、昨年の反省や課題を踏まえて、運営会議、職員会議で実施状況を把握し評価を行い、職員と一緒に考えて作成されています。運営会議、職員会議の2つの会議の中で説明、回覧し情報共有が行われています。	

7	I-3-(2)-②	評価
事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。		c
評価コメント	事業計画は、利用者、家族には、父母の会で説明し周知が行われていましたが、コロナ禍で父母の会が開催できなかったため説明が行われていません。事業計画については、利用者、家族に周知・説明の機会の開催に期待します。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

8	I-4-(1)-①	評価
福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		b
評価コメント	福祉サービス向上に向けた取り組みについては、PDCAサイクルにもとづき行なわれています。評価にもとづいた見直しが不十分のようです。今後は、今回、第三者評価を受けた結果や自己評価にて気付いた改善点を、組織的に福祉サービスの質の向上に生かすことを望みます。	

9	I-4-(1)-②	評価
評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		b
評価コメント	その日の問題や課題は、月2回の運営会議や毎日の終礼の中で話し合い、いつまでに改善するか期限を決め解決し記録に残しています。職員には、グループラインで共有を行っていることは評価できます。今回、自己評価を実施し課題が明確になったようですので、改善策を計画に生かす取り組みを望みます。	

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。

10	II-1-(1)-①	評価
管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。		C
評価コメント	災害時等有事の際における、施設長の役割、責任については明記されていますが、その他の管理者としての施設長の役割は、職員分掌には明記されていません。また、施設長の役割や不在の時の権限委任等を明文化されていないため、これらのことを、職員に表明し理解を得ていくことを期待します。	

11	II-1-(1)-②	評価
遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		b
評価コメント	施設長は、事業所における虐待防止、就業規則、ハラスメントなどについて勉強会や研修会を開催し、自らも参加して取り組んでいます。今後更なるリーダーシップを発揮することを期待します。	

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

12	II-1-(2)-①	評価
福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。		a
評価コメント	管理者は、自ら現場で積極的に実践し取り組んでいます。運営委員会では、各部署が計画通りできているか話を聞き、自ら現場で確認し指導を行っていることは評価できます。	

13	II-1-(2)-②	評価
経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。		a
評価コメント	管理者は、職員が働きやすいように月1回の職員会議で職員からの意見、意向を踏まえて人員配置、働きやすい環境整備などに取り組みが行われていることは評価できます。	

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

14	II-2-(1)-①	評価
必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		a
評価コメント	福祉人材不足を補うために、元気な高齢者を短時間労働者として採用したり、国家資格者を事業所内職員で育成に取り組んでいます。外国人労働者の採用を計画にもとづいた人材確保、育成について行っていることは評価出来ます。	

15	Ⅱ-2-(1)-②	評価
総合的な人事管理が行われている。		b
評価コメント	総合的な人事管理については、人事考課制度を採用し、3段階評価を行い職務能力、成果などを評価しています。職員の意向や意見を評価、分析して配置、異動などを行っています。今後は人事基準を明確に定めることを望みます。	

Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

16	Ⅱ-2-(2)-①	評価
職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。		a
評価コメント	職員と面談して軽度視覚障害、聴覚障害により業務に配慮した取り組みを行っています。また、福利厚生センターのソエルクラブに加入し余暇活動の支援を行い働きやすい職場づくりに力を入れ、残業をしない働き方を推進し、ワークライフ・バランスに配慮した取り組みを行っています。	

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17	Ⅱ-2-(3)-①	評価
職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		b
評価コメント	職員は個人評価カードに研修記録して実績管理を行ない、管理者が確認しています。管理者との面談で目標設定を行い、育成に向けた取組みに期待します。	

18	Ⅱ-2-(3)-②	評価
職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		b
評価コメント	中長期計画の中で職員の育成、人材確保について策定されて、単年度の研修が実施されています。毎年見直しが行なわれていますが、計画を職員がいつでも見られる状況を望みます。	

19	Ⅱ-2-(3)-③	評価
職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		b
評価コメント	職員教育、介護技術の向上のために、職場内研修（OJT）を毎月開催し、職種別研修には、職場外研修（OFFJT）に派遣して研修の機会が確保されています。教育研修の機会は一覧を作成などして事業所が把握されることを望みます。	

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20	II-2-(4)-①	評価
実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		C
評価コメント	実習生受け入れ体制はあるが、コロナの影響で学校から依頼がありません。マニュアルは不明です。実習生受け入れマニュアルの作成および専門職育成の体制整備を期待します。	

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

21	II-3-(1)-①	評価
運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		b
評価コメント	ワムネットに財務諸表、予算、決算、事業計画など情報公開しています。理念、基本方針は広報誌やパンフレットには記載されていません。理念、基本方針は、広報誌やパンフレットなどに記載されることに期待します。	

22	II-3-(1)-②	評価
公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		a
評価コメント	定期的な内部監査や外部監査（会計監査）を実施して、定期的に事業運営を適正に確保する取り組みが行われています。	

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

23	II-4-(1)-①	評価
利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。		b
評価コメント	年間事業計画や規程に法人としての取組は明文化されています。恒例の行事もコロナ禍の状況で困難な状況があったとの事ですが、施設の園庭より花火の打ち上げを行い近隣より喜ばれています。今後も色々な企画を期待します。	

24	II-4-(1)-②	評価
ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		C
評価コメント	ボランティアは体育祭などで受け入れています。今後は基本姿勢や事業計画の明文化、マニュアル作成等が整備される事を期待します。	

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

25	II-4-(2)-①	評価
福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		b
評価コメント	行政との連絡会出席や同系列相談支援事業所との連携体制はあります。今後は地域を巻き込み、他機関等との定期的な連絡会議等の参加でネットワーク構築を図り関係機関や団体等のリストを作成し利用者に社会資源の情報提供できるよう期待します。	

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26	II-4-(3)-①	評価
地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。		a
評価コメント	地域の避難所としての役割や、AED設置、地域のフードバンクの機能も整備されています。また同法人で栽培された野菜を観光協会との共同で販売する朝市を開催し地域住民に喜ばれています。今後は地域や関係団体との連絡会等の参加で地域福祉ニーズのさらなる把握ができるように期待します。	

27	II-4-(3)-②	評価
地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。		b
評価コメント	災害時の避難所に指定されています。台風時に避難場所になりました。また地域フードバンクとして食料の備蓄があり、食料提供の実績があります。今後はさらに地域との協議を重ね、より一層の活動が行われる事を望みます。	

III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

28	III-1-(1)-①	評価
利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。		b
評価コメント	基本理念は施設玄関に掲示され、基本姿勢についても明文化されています。職員に対しては会議での読み合わせや確認を行い人権に対する勉強会も行われています。今後は倫理綱領等の整備をされ、より利用者を尊重したサービスの提供を期待します。	

29	III-1-(1)-②	評価
利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。		c
評価コメント	居室の間仕切りは十分に配慮された配置が行われています。職員に対しては研修等で周知されています。今後はプライバシー保護に関する規程やマニュアルの作成を期待します。	

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

30	Ⅲ-1-(2)-①	評価
利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。		b
評価コメント	ホームページやパンフレットはわかりやすいように作成されています。広報紙あすか通信は家族向けに送付されていますが、今後は地域や他機関に対しても園の魅力を発信されていく事を期待します。	

31	Ⅲ-1-(2)-②	評価
福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。		a
評価コメント	サービス開始時、変更時は利用者面接とサービス担当者会議を経て個別援助計画に基づき、丁寧にわかりやすく説明を行い、同意を得ています。意思決定が困難な利用者には家族や後見人等に説明し同意を得ています。	

32	Ⅲ-1-(2)-③	評価
福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。		b
評価コメント	施設からの移行や事業所変更時はサービス管理責任者が窓口になり、利用者の情報等の継続的支援が行われています。今でも退所した利用者が相談に来る信頼関係があります。今後は退所や変更の際、利用者がいつでも活用できるような情報等資料の整備がなされることを期待します。	

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。

33	Ⅲ-1-(3)-①	評価
利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。		b
評価コメント	職員参加のもと、みさき会と言う利用者主体の会議で様々な意見を収集やアンケート調査をするなどの、利用者向上を目的とする取組は作られています。意見については、即対応できる体制はできていますが、さらに意見が出やすい環境づくりを期待します。	

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

34	Ⅲ-1-(4)-①	評価
苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		b
評価コメント	重要事項説明書に苦情解決相談窓口は明示されています。また年1回のアンケートで満足度調査を行っています。現在、苦情がないとの事なので意見箱の活用等の工夫や、より利用者が意見を述べやすい環境を整備することを期待します。	

35	Ⅲ-1-(4)-②	評価
利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。		b
評価コメント	利用者の意見や要望は支援員が直接相談を受けています。また、みさき会を通じて出た意見を検討して解決しています。意見を述べやすい環境ではありますが、意見箱の設置場所や広報誌に記載し周知のための工夫、意見に対する対応マニュアルの整備を期待します。	

36	Ⅲ-1-(4)-③	評価
利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		C
評価コメント	意見が述べやすい環境はありますので、担当責任者の明確化や対応、記録等の手順等の対応マニュアル等の整備を期待します。	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

37	Ⅲ-1-(5)-①	評価
安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		C
評価コメント	リスクマネジメント体制の構築にあたり責任者の明確化やヒヤリハットの作成、事故報告書等による検討会議、その後、職員に対しての周知方法等などの一連の対応マニュアルの整備を期待します。	

38	Ⅲ-1-(5)-②	評価
感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		b
評価コメント	感染症に関する勉強会は行われており、職員にも周知されています。今後は責任者の明確化や現在整備中である感染症マニュアルの整備を期待します。	

39	Ⅲ-1-(5)-③	評価
災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。		a
評価コメント	地域の避難場所として地域に開放され、台風の際には地域の方々が避難して来られました。地震や火災のマニュアルが整備されており、施設内でBCP（事業継続計画）委員会も設置され、避難訓練も定期的に行われています。	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

40	Ⅲ-2-(1)-①	評価
提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。		C
評価コメント	新入職員に対しては、一定期間OJT（職場内訓練）体制をとり、指導者と一緒に行動しながら実施方法を確認しています。しかし、標準的な支援方法のマニュアルについては、夜勤時のマニュアルのみとなっています。利用者への標準的な実施方法に沿った福祉サービスを提供を担保するためにも、早急にマニュアルの作成に取り組まれることを望みます。	

41	Ⅲ-2-(1)-②	評価
標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		C
評価コメント	福祉サービスを提供する際に戸惑った際は、職員間で話し合い対応方法を検討して実施しています。しかし、標準的なマニュアルがないため、その都度に支援方法が変化してしまうおそれもあります。まずは標準的マニュアルを作成し、その際は見直しの時期や方法も組織的に定めることを望みます。	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

42	Ⅲ-2-(2)-①	評価
アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。		a
評価コメント	個別支援計画策定者を設置し、個別支援計画が策定されています。また、アセスメントの際は、施設に応じた独自のチェック表を利用し、利用者や家族からの意向を確認しながら個別支援計画に反映され、その内容は職員間で共有もされています。	

43	Ⅲ-2-(2)-②	評価
定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。		a
評価コメント	6か月ごとのモニタリングの際は、利用者面談とともに家族にも電話にてニーズを把握し、個別支援計画の評価・見直しが行われています。また関係職員等も参加した会議にて、情報の共有も図られています。	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

44	Ⅲ-2-(3)-①	評価
利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。		C
評価コメント	施設で定めた様式に実施記録は適切に記録がされ、申し送り等で共有化もされています。しかし、勤務時間内には記録を記載する時間が確保できず、しばしば後手に回ってしまっている状況です。記録の効率化を図る記載様式または方法を検討されることを期待します。	

45	Ⅲ-2-(3)-②	評価
利用者に関する記録の管理体制が確立している。		C
評価コメント	個人情報管理者は配置され、個人情報に記載されている記録物等は、事務所の扉付きの戸棚にの中に保管されています。しかし、記録する際に、事務所より持ち出し、利用者が行き交う場所で行うことがあるようです。個人情報の取り扱いに関する規程等を作成し、管理方法をはじめ適正な利用方法について定めることを望みます。	

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重

A①	A-1-(1)-①	評価
利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。		b
評価コメント	生活に関わるルールについては、月1回、利用者間で話し合うみさき会にて目標を話し合い、利用者が主体的に取り組めるよう、毎月目標達成優秀者を表彰しています。職員は、利用者一人ひとりの持っている力を引き出せるよう意向を聴きながら個別支援に心掛けていますが、さらにその意向に添えるような選択肢を工夫していきたいと考えています。今後も利用者の意向に沿えるような選択肢の開拓に期待します。	

A-1-(2) 権利擁護

A②	A-1-(2)-①	評価
利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。		C
評価コメント	権利擁護に関する規程やマニュアルが整備されていませんが、身体拘束については、研修会を毎年実施し知識を深めています。実際、拘束等の事例はほとんどないようですが、必要と感じた際は、職員間で方法を検討し対応しています。しかし、このような対応の場合、その時々で対応が変化してしまいます。権利を擁護するために必要の是非そして対応方法等、一定の基準を明確にすることを望みます。	

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本

A③	A-2-(1)-①	評価
利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。		b
評価コメント	利用者の心身の状況や意向を配慮しながら個別支援計画が作成され、支援の際も自律・自立生活を意識しながら行っています。しかし、仕事に追われ、見守る姿勢や動機づけがおざなりになり、つつい手伝ってしまう場面があるようです。利用者の個性を職員間で話し合い、必要な支援を明確にしていくことを望みます。	

A④	A-2-(1)-②	評価
利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。		b
評価コメント	長期入所の方が多く、利用者と職員間の信頼関係が築かれておりコミュニケーションが取れています。聴力に障がいのある利用者に対しては、筆談やジェスチャーなど工夫もされています。しかし、今後、高齢になるにつれ様々な要因で言葉が不明瞭になったり、嚥下機能の低下につながることもありますので、今後は、口腔機能を高めたり維持するための取組みを期待します。	

A⑤	A-2-(1)-③	評価
利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。		a
評価コメント	さまざまな場面で、利用者やその家族からの要望などの相談に対応したり、相談がしやすいように相談の日を設けています。また、サービス管理責任者と職員間で検討会を行い、利用者が自身で選択・決定できるよう必要な情報を提供したり説明を行い、個別支援に反映されています。	

A⑥	A-2-(1)-④	評価
個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。		a
評価コメント	利用者の意向を確認した個別支援計画にもとづき、日中はそれぞれの能力に応じた活動を行っています。また、余暇活動として、コロナの感染防止に配慮しながら、バースデー会や外出支援、夏のお楽しみ会、市民アート展に作品を出展したり、体育祭、市民秋祭りでは利用者が花や苗の販売を行っています。	

A⑦	A-2-(1)-⑤	評価
利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。		b
評価コメント	利用者一人ひとりの全身写真を掲載したプロフィールシートに、さまざまな障がい等について、個別的な配慮が必要な情報が一目でわかるように工夫されています。今後も、専門的な支援ができるよう、スキルアップ研修や知識の習得の機会を作り、職員間で連携しながら統一した支援をに努め、検討や見直しを定期的にすすめることを望みます。	

A-2-(2) 日常的な生活支援

A⑧	A-2-(2)-①	評価
個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。		b
評価コメント	個別支援計画にもとづきプロフィールシートを活用しながら、日常生活の支援の必要度等を踏まえ行っています。利用者の毎日の楽しみとなる食事は新鮮な野菜や季節の食材を取り入れた献立を工夫され、利用者も美味しいと話されています。また、利用者の希望を取り入れ毎日入浴支援も行われています。今後は、統一した支援を安心・安全に行うために、標準的な支援マニュアルの整備を望みます。	

A-2-(3) 生活環境

A⑨	A-2-(3)-①	評価
利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。		b
評価コメント	建物が若干老朽化してきていますが、廊下等は不要な物を置かず広々とし、転倒等に配慮されています。また、居室や共用部分は、定期的な清掃とコロナの感染予防に対する消毒も行われ清潔に保たれています。しかし、室内の温度管理と照明については、利用者の立場に立った工夫をさらに期待します。	

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

A⑩	A-2-(4)-①	評価
利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。		b
評価コメント	個別支援計画に沿って生活訓練等が行われています。また、必要な利用者にはマッサージ師や看護師によって機能訓練も行われています。今後は、日常生活の中でも意図的に訓練が取り入れられるような支援をもとに、これからも拘縮予防や現状維持ができるよう専門職の指導や助言を望みます。	

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

A⑪	A-2-(5)-①	評価
利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。		b
評価コメント	看護師がバイタルサインチェックの他に、利用者からの健康相談にその都度対応を行い、健康状態の把握に努めています。気になる利用者はミーティングの際に職員に伝達されています。嘱託医、歯科医師は定期的に往診され、連携が取れています。また、利用者に迅速な対応が必要なときは、看護師の判断で嘱託医に連絡し対応が行われます。しかし、看護師が不在の際の緊急時対応マニュアルの整備とマニュアルに沿った職員研修の実施を期待します。	

A⑫	A-2-(5)-②	評価
医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。		b
評価コメント	服薬管理は、看護師が準備し、服薬介助は職員が行い、最終確認を看護師が行うなど、誤薬がないように努めています。誤嚥・誤飲の対応や感染症に対する研修会が行われていますので、今後は服薬等に関するマニュアルの整備を期待します。	

A-2-(6) 社会参加、学習支援

A⑬	A-2-(6)-①	評価
利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。		a
評価コメント	コロナ禍ですが、利用者の意向を尊重し柔軟に対応されています。地域が行う美術展への出展、地域の方々に花や苗などを販売、秋の収穫祭や体育祭など、さまざまなイベントで利用者が積極的に関与できる機会が作られています。また利用者が職員と一緒に電車に乗りイベント会場に行くなど外出支援も行われています。	

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

A⑭	A-2-(7)-①	評価
利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。		b
評価コメント	地域への移行を希望する利用者は少ない様ですが、以前グループホームに移行された方の場合には、相談支援事業所や行政等と連携して地域生活のための支援を行ったこともあります。今後は、利用者が希望すれば柔軟に対応し、地域生活に必要な情報の提供や学習支援を望みます。	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

A⑮	A-2-(8)-①	評価
利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。		b
評価コメント	利用者の家族等へは、必要時や面会時、個別支援計画作成時など、生活状況の報告を行い、支援に関する家族の意向を聴くなどの配慮を行なっています。コロナ禍前には5・8・12月には父母の会を行なっていましたが、現在は行えていません。利用者は家族等と会うことが楽しみの一つと思いますので、今後は、利用者と家族等が安心して交流できる方法を工夫していくことを期待します。	

A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援

A⑯	A-3-(1)-①	評価
子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。		
評価コメント	障がいのある子どもは入居していないため、該当なし。	

A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援

A⑰	A-4-(1)-①	評価
利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。		b
評価コメント	入所時や定期的に利用者の働く力や可能性を確認し、就労支援を提供されています。別な仕事内容の希望が出ても、その仕事を提供できなかった時もあり、施設ではもっと選択肢を広げたいと考えています。実際、就労時の利用者は笑顔で作業に取り組まれています。今後はさらに、可能性を引き出せる取組みを工夫することを望みます。	

A⑱	A-4-(1)-②	評価
利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。		b
評価コメント	木工部では危険杭や測量杭の制作、園芸部では花卉や苗の栽培を行い、仕事の内容や工程を利用者の状態や選択によって自分の仕事に誇りを持って取り組まれています。また、賃金規程に沿って工賃を支払うことにより働く意欲につながっています。今後は、作事中に想定していない事故等が発生することも考えられますので、労働安全衛生に関する規程の作成とともに、安心して仕事ができるような環境づくりを望みます。	

A⑲	A-4-(1)-③	評価
職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。		
評価コメント	該当なし	